

トークショー 開催決定!

日時・ゲスト

6/23(土) ゲスト:香川京子(女優)

10:00 『東京物語』上映終了後

6/24(日) ゲスト:有馬稲子(女優)

10:00 『東京暮色』上映終了後

場所:角川シネマ新宿

※トークショーは予告なく変更、中止になる場合がございます。予めご了承ください。
※トークショーのチケット発売日など詳細は後日公式HPなどで発表致します。



生誕115年記念企画

小津 4K

巨匠が見つめた7つの家族

SHOCHIKU KADOKAWA
配給:松竹メディア事業部/KADOKAWA
cinemakadokawa.jp/ozu4k-115/

書籍情報

発売中
「凛たる人生 映画女優香川京子」
香川京子述 立花珠樹著(ワズ出版)

6月下旬
「有馬稲子 わが愛と残酷の映画史」
有馬稲子・樋口尚文共著(筑摩書房)

DVD & Blu-ray情報

6/30(土)
『東京暮色』『早春』『お茶漬の味』
デジタル修復版DVD&Blu-ray角川シネマ新宿にて劇場先行販売!
7/4(水)一般発売(お求めは店頭、または松竹DVD倶楽部にて
http://www.shochiku-home-enta.com/shop/)
発売・販売元:松竹

6/29(金)
『浮草』4Kデジタル復元版Blu-ray発売!
封入特典:ブックレット/映像特典:4K復元について
発売・販売元:KADOKAWA

【新宿ピカデリー&角川シネマ新宿】
2館共通前売鑑賞券、絶賛発売中!
1回券 | 1,000円(税込)

劇場窓口にて前売鑑賞券をお買い求めの方に限りプレゼント!
特典:特製ポストカード ※画像はイメージ ※数量限定
※特典は非売品

※前売券の販売は新宿ピカデリーが6/15(金)まで、角川シネマ新宿は6/22(金)まで。
(なお、6/16(土)以降、角川シネマ新宿でご購入された前売鑑賞券は角川シネマ新宿でのみご使用頂けます。新宿ピカデリーではご使用頂けませんのでご注意ください。)



今も昔も変わらない形がある――

6/16(土)～6/22(金)

新宿ピカデリー

全席指定 | 各回入替制

03-5367-1144

JR新宿駅 東口から徒歩5分
www.smt-cinema.com/site/shinjuku/

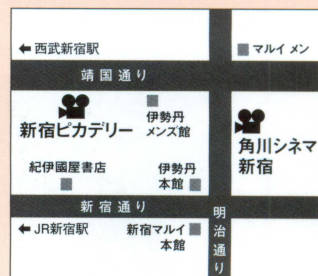
6/23(土)～7/7(土)

角川シネマ新宿

全席指定 | 各回入替制

03-5361-7878

伊勢丹本館向かい 明治通り側
www.kadokawa-cinema.jp/shinjuku/



全席指定・定員入替制のため、満席の際はご入場いただけません。混雑状況は劇場HPからご確認くださいか、お電話でお問合せください。

当日料金:一般1,600円/シニア(60歳以上)1,100円/水曜サービスデー:1,100円(※角川シネマ新宿は男女とも。新宿ピカデリーは女性のみ)※すべて税込
学生応援割:学生の方に限り1,000円で鑑賞!(要学生証提示)



6/16(土)～6/22(金)新宿ピカデリー、6/23(土)～7/7(土)角川シネマ新宿にて
日本が世界に誇る巨匠・小津安二郎の名作を4Kデジタル修復版で一挙上映!



小津安二郎

1903年12月12日、東京市深川区万年町(現在の東京都江東区深川)生まれ。小学校の代用教員を経て、1923年松竹キネマ蒲田撮影所に撮影助手として入社、1926年演出部に移り、翌1927年『懺悔の刃』で監督デビュー。

1949年『晩春』は、野田高梧との共同脚本、独自の撮影手法、原節子や笠智衆の起用など「小津調」と呼ばれる戦後の小津の作品スタイルを確立、大きな節目の作品となった。

1953年未完成だったシナリオを練り直し、『東京物語』(53)を発表。家族の在り方を問う本作は小津映画の集大成であり、後世に語り継がれる代表作となった。

1958年紫綬褒章を受章、翌59年には映画人として初めて日本芸術院賞を受賞。世界レベルで評価が高まるも、病に倒れ1963年12月12日60歳の誕生日に逝去。生涯映画監督本数54本。

溝口健二、黒澤明と並び国際的に最も支持される、日本が世界に誇る映画監督で、遺した作品は国内外問わず現代でもオマージュを捧げられているなど、数多の映画人に今なお影響を与え続けている。

父と娘



晩春

(1949年/モノクロ/108分/スタンダード/松竹) 原作: 廣津和郎 (『父と娘』より) 脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 厚田雄春 美術: 濱田辰雄 音楽: 伊藤宜二 出演: 笠智衆、原節子、月岡夢路、杉村春子、青木放屁、宇佐美淳、三宅邦子、三島雅夫

父と娘の深い愛と絆を描く、原節子記念すべき小津作品出演第1作

大学教授の周吉(笠)は娘・紀子(原)と2人暮らし。紀子は妻を亡くした父に尽くし嫁に行けずにいた。そんな中、紀子に縁談が持ち上がり、周吉は自分も後妻を取ると紀子に告げる…。

【新宿ピカデリー】6/17(日)上映時間未定 【角川シネマ新宿】6/23(土)14:00 6/25(月)10:45 6/27(水)16:30 6/29(金)15:50 6/30(土)13:45 7/1(日)10:00 7/2(月)18:45 7/5(木)19:10 7/6(金)13:45

小津監督が独自のスタイルを確立させ、後のTVのホームドラマにも多大な影響を与えたと言われている必見の名作。『晩春』『麥秋』『東京物語』と原節子が「紀子」役を演じた「紀子三部作」第1作。キネマ旬報ベストテン第1位。

大家族



麥秋 <ばくしゅう>

(1951年/モノクロ/124分/スタンダード/松竹) 脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 厚田雄春 美術: 濱田辰雄 音楽: 伊藤宜二 出演: 原節子、笠智衆、淡島千景、佐野周二、三宅邦子、菅井一郎、東山千榮子、杉村春子

戦争の傷を抱え生きる家族の崩壊と再生、人間の無常を描く珠玉の名作

北鎌倉に大家族で暮らす間宮家の長女・紀子(原)は会社の上司から縁談を持ち込まれる。しかし紀子は戦死した兄の親友で、妻を亡くした手持の謙吉との結婚を決めてしまう…。

【新宿ピカデリー】6/18(月)19:00 【角川シネマ新宿】6/23(土)19:00 6/25(月)15:40 6/26(火)10:45 6/27(水)13:45 7/1(日)19:00 7/4(水)10:45 7/5(木)13:35 7/7(土)16:35

『晩春』に続きテーマは娘の結婚であるが、本作は大家族の姿を群像劇としてユーモラスに描き、同時に家族が抱える暗部を見つめその無常を露わにした。『晩春』では原の父役であった笠は本作では兄役。キネマ旬報ベストテン第1位。

夫と妻



お茶漬の味

(1952年/モノクロ/115分/スタンダード/松竹) 脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 厚田雄春 美術: 濱田辰雄 音楽: 齋藤一郎 出演: 佐分利信、木暮実千代、鶴田浩二、笠智衆、淡島千景、津島恵子、三宅邦子、柳永二郎

身分や価値観の異なる夫婦のすれ違いと和解を描く感動作

田舎出身の茂吉(佐分利)は真面目で質素な生活を好む男。一方、上流階級出身の妻・妙子(木暮)はそんな夫の野暮さが気に入らず、友人のアヤ(淡島)や長兄の娘・節子(津島)らと遊びに出かけることで鬱憤を晴らしていたが、茂吉が海外出張に行くことになり…。

【新宿ピカデリー】6/19(火)19:00 【角川シネマ新宿】6/23(土)16:30 6/24(日)19:20 6/25(月)13:10 6/29(金)10:45 7/1(日)13:30 7/2(月)16:15 7/3(火)10:45 7/4(水)19:00

復員した小津が復帰第1作として書いたシナリオが元であるが、そのシナリオは戦時中に検閲当局より却下された。戦争反対の要素がないながら却下された本事件は当時の映画人たちに衝撃を与えた。パチンコやトナカツなど当時の庶民の生活が窺えるのも見所。

親と子



東京物語

(1953年/モノクロ/135分/スタンダード/松竹) 脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 厚田雄春 美術: 濱田辰雄 音楽: 齋藤高順 出演: 笠智衆、東山千榮子、原節子、杉村春子、山村聰、三宅邦子、香川京子

幾度もリメイクされている、映画史上燦然と輝く小津安二郎の最高傑作 尾道に暮らす老夫婦(笠・東山)が子供たちに会う為東京に出て来るが、長男・幸一(山村)や長女・志げ(杉村)らは日々の生活に追われ両親にかまってやれない。そんな寂しい思いをする2人を慰めたのは、戦死した次男の嫁・紀子(原)だった…。

【新宿ピカデリー】6/16(土)上映時間未定 【角川シネマ新宿】6/23(土)10:00 6/24(日)14:00 6/26(火)16:30 6/28(木)19:15 7/1(日)16:05 7/3(火)19:10 7/4(水)13:30 7/5(木)10:45 7/6(金)16:10 7/7(土)19:20

地方と都市、家族の絆と親と子の関係、老いと死など人生そのものを、上京した両親とその家族の姿を通して冷徹な視線で真正面から描いた名作中の名作。今もお国内外で高い評価と支持を得ており、各国の映画人もリスペクトしオマージュを捧げている。

夫婦と夫の愛人



早春

(1956年/モノクロ/144分/スタンダード/松竹) 脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 厚田雄春 美術: 濱田辰雄 音楽: 齋藤高順 出演: 淡島千景、池部良、高橋貞二、岸恵子、笠智衆、山村聰、杉村春子、田浦正巳

倦怠期にある若い夫婦の危機と再生をシリアスに描いた人間ドラマ

サラリーマンの正二(池部)と妻・昌子(淡島)は結婚8年の共働き夫婦。子供を失って以来、関係は冷え切っている。そんな中、正二は毎朝同じ通勤電車に乗り合わせる内に親しくなったグループのひとり・千代(岸)と成り行きで一晩を共にしてしま…。

【新宿ピカデリー】6/20(水)19:00 【角川シネマ新宿】6/25(月)18:20 6/26(火)13:30 6/27(水)10:45 6/28(木)16:15 6/30(土)19:10 7/3(火)16:10 7/6(金)10:45 7/7(土)13:30

東宝の二枚目スター・池部良と松竹看板女優・淡島千景、『君の名は』で同じく松竹の看板女優となった岸恵子を迎え、1953年『東京物語』以来3年ぶりに発表した小津の繊細な演出が冴える異色作。上映時間2時間24分と現存する小津作品としては最長尺作品。

父娘と母娘



東京暮色

(1957年/モノクロ/140分/スタンダード/松竹) 脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 厚田雄春 美術: 濱田辰雄 音楽: 齋藤高順 出演: 原節子、有馬稲子、笠智衆、山田五十鈴、高橋貞二、田浦正巳、杉村春子、山村聰

主人公に“光”が与えられない——衝撃の辛口ホームドラマ

銀行員の周吉(笠)は、妻と自分の部下が駆け落ちして以来、男手ひとつで子供たちを育てて来たが、長女・孝子(原)は夫とうまく行っておらず、幼い娘を連れて実家に戻って来る。一方、短大を出たばかりの次女・明子(有馬)は男に騙され妊娠してしまう…。

【新宿ピカデリー】6/21(木)19:00 【角川シネマ新宿】6/24(日)10:00 6/26(火)19:20 6/28(木)13:20 6/29(金)18:15 6/30(土)16:15 7/2(月)10:45 7/3(火)13:15 7/5(木)16:15 7/7(土)10:30

戦後の小津作品の中でも最も暗く、悲観的な印象を残す作品と評されがちだが、親子愛に焦点をあてたテーマは現代に通じる強いメッセージが込められている傑作。小津最後の白黒作品。屈指の名演出と言われるラストシーンも必見。

旅一座



浮草

(1959年/カラー/119分/スタンダード/大映) 脚本: 野田高梧、小津安二郎 撮影: 宮川一夫 美術: 下河原友雄 音楽: 齋藤高順 出演: 中村錦治郎、京マチ子、若尾文子、川口浩、杉村春子、野添ひとみ、笠智衆

人の心の美しさを溢れる詩情で謳いあげ、胸打つ哀愁と感動で全編を貫く文芸巨篇

志摩半島の小さな港町に旅役者の一座の乗った船が着く。そこには団長・駒十郎(中村)が飯屋のお芳(杉村)との間にもうけた息子・清(川口)がいる。駒十郎の連れであるすみ子(京)は彼らの関係を疑い、座員の加代(若尾)に清を誘惑させるようとするが…。

【新宿ピカデリー】6/22(金)19:00 【角川シネマ新宿】6/24(日)16:50 6/27(水)19:00 6/28(木)10:45 6/29(金)13:15 6/30(土)10:00 7/2(月)13:40 7/4(水)16:20 7/6(金)19:00

『浮草物語』(1934)をセルフリメイク。小津第二の故郷・三重県で撮影した唯一の作品で、京、若尾、川口など大映スターを迎え撮った唯一の大映作品でもある。日常を淡々と描く小津作品には珍しく登場人物が激しく罵り合う場面もあるなど、高い人気を誇る名作。

上映スケジュール

新宿ピカデリー ※すべて4Kデジタル上映 ※すべてスクリーン3(285席)にて上映

6/16 土	※ 東京物語	6/19 火	19:00 お茶漬の味	6/22 金	19:00 浮草
6/17 日	※ 晩春	6/20 水	19:00 早春		
6/18 月	19:00 麥秋	6/21 木	19:00 東京暮色		

※6/16(土)・17(日)の上映時間は劇場へお問合せください。

角川シネマ新宿 ※すべて4Kデジタル上映 ※すべてシネマ1(300席)にて上映

6/23 土	10:00 東京物語	14:00 晩春	16:30 お茶漬の味	19:00 麥秋
6/24 日	10:00 東京暮色	14:00 東京物語	16:50 浮草	19:20 お茶漬の味
6/25 月	10:45 晩春	13:10 お茶漬の味	15:40 麥秋	18:20 早春
6/26 火	10:45 麥秋	13:30 早春	16:30 東京物語	19:20 東京暮色
6/27 水	10:45 早春	13:45 麥秋	16:30 晩春	19:00 浮草
6/28 木	10:45 浮草	13:20 東京暮色	16:15 早春	19:15 東京物語
6/29 金	10:45 お茶漬の味	13:15 浮草	15:50 晩春	18:15 東京暮色
6/30 土	10:00 浮草	13:45 晩春	16:15 東京暮色	19:10 早春
7/1 日	10:00 晩春	13:30 お茶漬の味	16:05 東京物語	19:00 麥秋
7/2 月	10:45 東京暮色	13:40 浮草	16:15 お茶漬の味	18:45 晩春
7/3 火	10:45 お茶漬の味	13:15 東京暮色	16:10 早春	19:10 東京物語
7/4 水	10:45 麥秋	13:30 東京物語	16:20 浮草	19:00 お茶漬の味
7/5 木	10:45 東京物語	13:35 麥秋	16:15 東京暮色	19:10 晩春
7/6 金	10:45 早春	13:45 晩春	16:10 東京物語	19:00 浮草
7/7 土	10:30 東京暮色	13:30 早春	16:35 麥秋	19:20 東京物語